

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名 一般国道291号 <small>さかと</small> 坂戸バイパス <small>みなみうおぬまぐんむいかまちひかしすみだ</small> 自：新潟県南魚沼郡六日町東泉田 <small>みなみうおぬまぐんむいかまちふつかまち</small> 起終点 至：新潟県南魚沼郡六日町二日町 <small>まえばしし</small>		事業区分 一般国道	事業主体 新潟県
事業概要 一般国道291号は、群馬県前橋市を起点として新潟県柏崎市に至る幹線道路である。 坂戸バイパスは、幅員狭小・線形不良の隘路区間及び交通渋滞を解消し、日常生活圏の連携強化、雪や災害に強い道路ネットワーク整備及び個性ある地域形成を図る。		延長 3.5km	
昭和54年度事業化	平成5年度都市計画決定	昭和54年度用地着手	昭和59年度工事着手
全体事業費	約 48億円	事業進捗率	84%
計画交通量	4,000 台 / 日		
費用便益比	B / C	総費用	総便益
(事業全体)	1.3	(残事業)/(事業全体) 7 / 8 億円	(残事業)/(事業全体) 11 / 11 億円
(残事業)	1.5	(事業費：6/7 億円 維持管理費：1/1 億円)	(走行時間短縮便益：9/9 億円 走行費用減少便益：1/1 億円 交通事故減少便益：0/0 億円)
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり）			他6項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 六日町は、早期整備を強く要望している。また、六日町は当事業と併せて、街路事業により当事業の先線を整備中であり、一体的な整備を展開中である。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在まで用地買収・工事を推進し、2.8kmを部分供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 トンネルを含む区間の供用を開始し、国指定史跡「坂戸城址」に係わる文化庁との協議が終了したため、今後、事業促進を図る。			
施設の構造や工法の変更等 プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。